

# 行革プラン

## (1) 民間活力の導入

行政責任の確保を図りつつ多様な提供主体との協働の中で、民間で出来ることは可能な限り民間活力の導入を進めながら公共サービスの提供を行います。

### ① 新給食センターの民間委託

平成28年度に配達業務、平成34年度に調理部門の民間委託

### ② 公立幼稚園の運営方法の見直し

公立幼稚園（幼稚園と保育所）の運営を民営化（1園）に向けて見直し、待機児童の解消

### ③ ごみ収集の効率化

収集体制の更なる効率化、民間委託の適正化

### ④ 図書館運営の効率化

地域や学校と連携しつつ、子ども読書計画の推進等

### ⑤ 窓口業務の効率化とサービス向上

市民課の証明及び税の証明交付の窓口を一元化

### ⑥ 市税と国民健康保険料との徴収体制

市税と国民健康保険料の徴収体制をフレキシブルに連携

# 財政プラン

## (1) 財政の現状

（将来負担比率は全国ワースト27位）

将来負担比率は、サラリーマンの家計でいうと、住宅ローンなどのローン残高から定期預金等を差引いた残高が、毎年の給与収入に比較してどのくらい残っているかを示すもので、交野市（26年度183.1%）は、全国1741市町村の中で27番目と非常に悪く、中長期的にも財政は厳しい状況と言えます。

## (2) 現状の財政見通し

（平成32年度の実質収支△11.5億円）

32年度までの実質収支（累計）は、11.5億円の赤字となり、26年度末の基金残高50億円の一部を補填財源にあたると、32年度末の基金残高は38.5億円となります。

### （歳入）

- ・高齢化等により税収の伸びは見込めず
- ・国からの交付税も扶助費分の増加はあるものの、市単独の収入増は見込めない状況

### （歳出）

- ・高齢化により扶助費（※1）や介護保険特別会計等への繰出金（※2）の支出増加
- ・人件費は、制度改革で増加
- ・新ごみ処理場建設に伴う負担金の大幅な増加

## (3) 市長戦略による財政見通し

（平成32年度の実質収支△30億円）

市長戦略に掲げた政策プランや行革プランを全て実施することで、約18.5億円の新たな財源が必要となります。

主な費用として、JR星田駅北エリアのまちづくり、子育て世代定住促進事業、小学校35人学級の拡大、公共施設の再配置に係る初期費用などに要する費用を想定しています。

基金残高（貯金）は、市の標準財政規模の1割強の金額20億円を確保

## (4) 市長戦略以降の財政見通し

（平成33年度～37年度）

本格的な高齢化社会で、財政は更に逼迫すると予測

財政収支の均衡を図るため切れ目のない行財政改革

（※1）扶助費は、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉などの法令に基づいて支出する経費  
（※2）繰出金は、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療などの特別会計に支出する経費

# ずっと“かたの” もっと“かたの”



自然と人が共生し  
子育てと地域の絆で元気な交野！！



## 市長戦略

概要版

2015-2018

平成27年度～平成30年度

## データで見る交野の魅力

### — 平均寿命と健康寿命 —

府内トップレベル

県	平均寿命	健康寿命
長野県	男 80.98	79.46
	女 87.23	84.04
交野市	男 80.95	79.55
	女 86.43	83.32
大阪府	男 79.06	77.43
	女 85.90	82.26

（2010年厚生労働省調査より）

### — 府内トップレベルの教育実績 —

国語 数学 英語

交野市	65.6	56.3	74.0
大阪府	63.2	53.7	69.3

中1 平均

交野市	65.5	54.8	58.6
大阪府	62.9	49.4	55.0

中2 平均

（平成26年度中学校チャレンジテストの結果より）

交野市長 黒田 実

## = 交野市の将来ビジョン =

ずっと“かたの” もっと“かたの”

自然と人が共生し 子育てと地域の絆で元気な交野！！

### 政策プラン

総合計画を効果的に実施するため、社会情勢の変化の中、市長が特に実施すべき重点施策を示します。

### 行革プラン

行政資源を最大限活用するために、公共施設総合管理計画、学校規模の適正化、補助事業の標準化。市役所内の縦割り行政の解消、職員の意識改革、事務事業の効率化、民間委託の導入などを進めます。

### 財政プラン

個別計画、実施計画、市長戦略を実施するための、財政の裏づけです。

# 政策プラン

## (1) 住みたい、住み続けたいまちづくり



- ◆ 星田駅北エリアと星田駅周辺のまちづくりの推進
  - ◆ 中学校卒業まで医療費を助成し子育て世代を応援
  - ◆ 小中学校の教育に力をいれて小中学生の学力を全国トップクラスへ
- 子育て世代が住みたいまちで、子どもがいきいき育つまち、一度住めば愛着を持って住み続けたいと思うまちづくりを目指します。そのため、まずは子育てを応援します。子ども達の教育にも力を入れます。子どもから祖父母までの同居や近居で家族の絆づくりも応援します。

## (3) 未来へつなぐ環境づくり



- ◆ 低炭素社会の実現に向けて、公共施設への太陽光パネル設置と市内防犯灯のLED化
  - ◆ 里山や里の川との共生に向けた取り組み
  - ◆ 交野の特性を生かした新しい雇用の創出
- 交野の豊かな自然環境と共に存するまち、交野の地域特性を生かし産業の活性化と働きたい人が働けるまちを目指します。関連計画の推進と合わせて、低炭素社会に向けた取り組みや産業活性化に向けた具体事業に取り組みます。

事業名	事業内容
①JR 星田駅北エリアと星田駅周辺のまちづくり	利便性向上など魅力あるまちづくり
②利用しやすく、やさしい市民の窓口	市役所1階窓口の証明発行業務などの一元化とリニューアル
③移住・定住促進事業 (地)	3世代同居・近居補助（引越し費用相当額、最高20万円補助）で家族の絆づくりを応援
④多様な情報技術の活用による市の魅力発信	市情報を効果的に発信するための情報戦略、民間ポータルサイトを利用した魅力発信
子育て世代が住みたいまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤子育て世代定住促進事業 (地) 中学卒業までの通院・入院にかかる医療費を助成</li> <li>⑥子育て貸付金（教育ローン）の金利補助を市内金融機関と連携して実施</li> <li>⑦妊娠・出産・子育て目撃支援 (地) 妊娠から出産、子育てで切れ目なく支援制度が活用できるように窓口を設置</li> <li>⑧親になるための学習と支援 (地) 講座の開設、家庭教育学級の拡充。育児に前向きな企業の顕彰。放課後児童会の拡充</li> <li>⑨小学校の全学年を35人学級へ 35人学級を小学6年まで拡大（H28年度から5年生、H29年度から6年生）</li> <li>⑩小学校の英語教育 ネイティブな英語に小学校から心で中学校の英語力アップへ</li> <li>⑪子どもの体力向上プログラム 遊びを取り入れた体力向上プログラム（民間事業者と連携）を実施</li> <li>⑫魅力ある幼児教育の促進 (地) 外部機関による運動教室を開催し幼児の運動機能の向上</li> <li>⑬フォローアップ事業 (地) 幼稚園・保育所と小学校の連携。支援が必要な児童に切れ目ない支援を実施</li> <li>⑭スクールソーシャルワーカーの拡充 (地) 学校でいじめ・不登校・暴力ゼロにする取り組み</li> </ul>
子どもがいきいき育つまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑮子育て応援プラン (地) 子育て貸付金（教育ローン）の金利補助を市内金融機関と連携して実施</li> <li>⑯妊婦・出産・子育て目撃支援 (地) 妊娠から出産、子育てで切れ目なく支援制度が活用できるように窓口を設置</li> <li>⑰親になるための学習と支援 (地) 講座の開設、家庭教育学級の拡充。育児に前向きな企業の顕彰。放課後児童会の拡充</li> <li>⑱小学校の全学年を35人学級へ 35人学級を小学6年まで拡大（H28年度から5年生、H29年度から6年生）</li> <li>⑲小学校の英語教育 ネイティブな英語に小学校から心で中学校の英語力アップへ</li> <li>⑳子どもの体力向上プログラム 遊びを取り入れた体力向上プログラム（民間事業者と連携）を実施</li> <li>㉑魅力ある幼児教育の促進 (地) 外部機関による運動教室を開催し幼児の運動機能の向上</li> <li>㉒フォローアップ事業 (地) 幼稚園・保育所と小学校の連携。支援が必要な児童に切れ目ない支援を実施</li> <li>㉓スクールソーシャルワーカーの拡充 (地) 学校でいじめ・不登校・暴力ゼロにする取り組み</li> </ul>

## (2) 支え合う健康のまちづくり



- ◆ 府内トップクラスの平均寿命と健康寿命を更に延ばす
- ◆ 健康ポイント制度で市民の健康づくりを応援
- ◆ 介護情報の共有化や認知症支援策で高齢者の自立を支援

健康寿命を延ばすまち、自立促進と地域包括ケアが充実したまちを目指します。その指標として健康寿命が全国トップの長野県レベルを目指します。そのため関連計画の推進と合わせて市民の健康増進、市民スポーツ、地域包括ケアに積極的に取り組みます。

事業名	事業内容
健康寿命を延ばすまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>①健康ポイント制度 健康診断・がん検診・生活改善・健康講座参加・スポーツ参加・禁煙で健康ポイントを付与、健康ポイントと付加価値で市民の健康づくりを推進</li> <li>②生涯学習計画・スポーツ振興計画の策定 市民の生涯学習と生涯スポーツの振興を計画的に実施</li> <li>③高齢者のライフステージヒューリック 高齢者向けにニュースポーツ教室、ノルディックウォーキングなどの実施</li> <li>④わがまちウォーキング (地) まちなかにウォーキングコースを設置し歩くことを促進</li> <li>⑤ストレッチ体操促進 (地) 市内のウォーキングコースにある公園などに健康遊具を設置</li> </ul>
自立促進と地域包括ケアの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥地域包括機能の充実 効果的な医療・介護情報共有ツールの運用、府内や関係機関との連携</li> <li>⑦認知症支援策の充実 認知症地域支援推進員の配置。認知症初期集中支援チームの配置</li> <li>⑧地域の健康づくり 認知症ケアバスの作成。認知症サポータの充実</li> <li>⑨介護予防の視点に立った健康づくりや地域の見守りネットワークの促進</li> </ul>

※ (地) は、地方総合戦略にもかかる事業を示します。

## (4) みんなで安全安心なまちづくり



- ◆ 地域や通学路の防犯対策（防犯カメラ設置）
- ◆ 市内全てのコンビニと消防分団にAED設置
- ◆ 地域の防災マップと市総合防災ガイドブックの作成
- ◆ 校区コミュニティの推進と地域の防災力の強化

住むまちに誰もが願うことは、安全で安心して暮らすことです。防犯対策として防犯カメラを積極的に地域に設置します。防災対策は、地域の防災マップを作成し安全点検や避難通路を確保し、市の総合防災ガイドブックの作成と防災マニュアルを作ります。

事業名	事業内容
地域の防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の防犯カメラ設置促進 地域の防犯カメラ設置を促進し地域の安全を確保</li> <li>②小学校通学路の防犯カメラ設置 小学生の通学路へ防犯カメラを設置、子供の安全と地域の安全を確保</li> <li>③中学校区への防犯カメラ設置 多くの中学生が通学に使う道路などに防犯カメラを設置</li> </ul>
地域の災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>④地域防災マップの作成支援 避難経路、避難所、危険箇所を明記した地域の防災マップ作成を支援</li> <li>⑤市総合防災ガイドブックの作成 市全体の総合防災ガイドブックを作成し水害や震災に備える</li> <li>⑥個別防災マニュアルの充実 平成27年版の地域防災計画に合わせ、より実効性のあるマニュアルへ</li> </ul>
校区コミュニティの推進	学校を中心とする防災活動やコミュニティの醸成
市民活動支援に係るしくみの創設 (地)	市民活動を行うための資源を市から貸し出すなど、市民活動への支援制度を創設
市内コンビニ等へのAED設置	市内の全てコンビニと消防分団へAEDを設置で心臓蘇生に24時間対応
公共施設の総合管理計画	公共施設の老朽化への対応や人口減少から、コンパクトシティを標榜した再配置
学校規模の適正化	少子化や学校の老朽化は、公共施設の再配置と合せて対応
学校施設の維持改修	学校の教室などで、老朽化が進んだ屋上の防水対策

ずっと“かたの”  
もっと“かたの”

